

党首討論に立つ志位委員長  
(右)と安倍首相(17日)



いつでも、どこでも、米のどんな戦争にも参加

3つの大問題  
戦争法案

# 米国いいなりで9条破壊

## 日本共産党 志位委員長が連続追及

共産党の志位和夫委員長は、戦争法案について衆院安保法制特別委、党首討論などで連続質問。その正体が▽憲法蹂躪(じゅうりん)の違憲立法▽米国の危険を明らかにしました。

### ①「後方支援」は武力行使と一体

米国がアフガン・イラク戦争のような戦争を始めたら、自衛隊がこれまで禁じられてきた「戦闘地域」にまで行って軍事支援することになります。そうすれば、相手から攻撃され、戦闘になる――「殺し殺される」危険を飛躍的に高めます。「後方支援」と言っても、国際的には弾薬などを補給する兵たんと呼ばれ、武力行使と一体の活動です。敵に狙われるのは世界の軍事常識です。

「政府の言う『武力行使と一体でない後方支援』など、世界ではおよそ通用しない」。志位委員長は17日の党首討論で自衛隊の米軍などへの「後方支援」について、「他国の武力行使と一体化しないから憲法

### 世界で通用しない 安倍答弁

違反でない」とする政府の主張を追及。安倍首相は、「国際法上の概念ではない」と認め、自らの答弁を事実上撤回しました。志位氏は「後方支援」=兵たんが「軍事攻撃の格好の標的となり、自衛隊が兵たんをやっている場所が戦場になる」と批判しました。

### ②アフガン型治安活動に派兵

PKO(国連平和維持活動)法を改定し、形式上「停戦合意」があつても戦乱が続いている所に派兵します。武器の使用も自己防衛だけでなく、任務遂行のためでも許され、武器を使った「治安維持活動」を可能にします。これによってアフガンで3500人も

の死者を出した

国際治安支援部

隊(ISAFF)のよ

うな活動に道を

開くことになりま

す。首相も否定し

ませんでした。



米軍普天間基地で新しい防空装備を米海兵隊に披露する自衛隊員

### ③集団的自衛権で米の戦争に参戦

日本への武力攻撃がなくても、集団的自衛権を発動し、自衛隊が海外での武力行使に乗り出すこととなります。日本政府は、米国の無法な侵略戦争だったベトナム戦争、イラク戦争を支持

しましたが、今なお誤りを認めず検証

もしていません。こんな国は主要国でも

日本だけ。異常なまでの対米追随の政

府が集団的自衛権の行使に踏み出すの

は余りにも危険です。